

仮設校舎で迎える春に

今年度、平岡克也校長の後任として着任いたしました飯田英美子です。どうぞよろしくお願いいたします。

昭和 42 年に長岡京市井ノ内朝日寺の地に開校した本校は、56 年間で 1100 人以上の子どもたちを社会に送り出してきました。子どもたちの成長がいっぱい詰まった学びの舞台は、この度老朽化による建て替えを行うことになり、私たちは昨年8月に長岡京市今里南平尾の旧済生会京都府病院の建物跡に仮移転し、この地域の皆様にあたたかく出迎えていただきました。

この仮設校舎への仮移転は、子どもたちにとっても、私たち教職員にとっても、大事業でした。校舎は広い敷地の平屋建てから、6階建てになりました。スクールバスのプラットホームがないため、駐車場へ到着した順にバスから降りて、教室へ向かいます。またグラウンドや体育館等は外部施設を借用しています。このように大きく環境は変化しましたが、引越しの約1年前から「さよなら校舎」そして「こんにちは校舎」として事前学習を重ねてきたこともあり、この仮設校舎では、自信をもって生き生きと学習している子どもたちの姿をあちこちで見ることができます。子どもたち一人一人がこの大事業に挑んだ姿は、本校の教育目標「自分らしく 人とともに 今を生きる力を」そのものでした。そして私たちの学校は「成長できる学校」なんだと確信することができた出来事となりました。

令和9年夏には長岡京市井ノ内朝日寺の地で、長岡京市の共生型福祉施設に隣接する新しい校舎が私たちを待っています。また新たな授業の展開や、社会と様々につながる可能性があると思うとワクワクします。その時に向かって、私たちは子どもたち一人一人の可能性をもっともっと見つけ、伸ばし、豊かな人生の歩みを支援する学校として歩み続けます。共生社会の担い手として活躍してくれるであろう子どもたちと一緒に、私たちも成長していきたいと考えております。

本日から令和6年度が始まります。仮設校舎の西側では、地域の皆様に愛されてきた桜の木が、新年度を迎える私たちを激励してくれているかのように、日ごとにつぼみを大きく膨らませています。このホームページでは、子どもたちが生き生きと活躍する姿など、本校の様子を発信してまいります。引き続きあたたかい御支援をどうぞよろしくお願いいたします。



令和6年4月1日

京都府立向日が丘支援学校
校長 飯田 英美子